

## 第 103 回 学長定例記者会見

日時：平成30年10月24日（水）10：30～11：00

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室

※テレビ会議システムを実施

※Ustream 若しくは YouTube による録画配信を実施

### 【発表事項】

1. 広島大学の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が文部科学省の卓越大学院プログラムに、「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」が内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業に採択されました
  - 1-1. ゲノム編集先端人材育成プログラム
  - 1-2. ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム
2. 広島大学と平山郁夫美術館との包括的連携協力に関する協定を締結します
3. 広島大学と広島銀行との遺贈による寄附に関する協定締結及び共同セミナーの開催について
4. 広島大学トランスレーショナルリサーチセンターのもとに「ひろしまバイオデザインフェローシップコース」を設置し、受講生を募集します
5. 第12回広島大学ホームカミングデーの開催について

### 【お知らせ】

1. 西日本豪雨災害における被災者への無料心理相談の実施について
2. 2018年度 広島大学教育学部・大学院教育学研究科「高等学校教員のための指導力向上セミナー」を開催します
3. 2018年度 第2回広島 ESD コンソーシアム研修会「これからの時代に求められるコミュニケーション能力育成のための初等国語科教育」を開催します
4. 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所「第3回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム」を開催します

### ■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：平成30年11月下旬

場所：広島大学 東広島キャンパス



平成 30 年 10 月 24 日

**本学の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が  
文部科学省の平成 30 年度卓越大学院プログラムに採択されました**

文部科学省の「卓越大学院プログラム」の選定結果が 10 月 3 日発表され、広島大学の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」を含む 15 件が採択されました。

ゲノム編集の世界市場は、生命科学研究、バイオ産業、動物や植物の品種改良、医療及び創薬分野等で急成長が見込まれており、その技術開発競争は厳しさを増しています。

本プログラムでは、ライフサイエンスコース（5 年一貫）とメディカルコース（4 年一貫）の 2 つのコースの一貫したプログラムにより、ゲノム編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業へ直結させる人材を養成します。

具体的には、1 年次と 2 年次においてゲノム編集の基礎科目と先端基盤科目等を学び、本学及び連携機関が実施する先端実習によりゲノム編集技術を修得します。3 年次以降では、産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）参画企業や連携機関（京都大学 iPS 細胞研究所および徳島大学）との共同研究を通して、先端的かつ実践的な研究開発力を育成することを特長としています。

これら研究開発プログラムと連動したゲノム編集の体系的な教育プログラムにより、①ゲノム編集の産業技術開発者、②ゲノム編集の創薬・治療研究者、③ゲノム編集関連ベンチャーの起業家、④ゲノム編集の基礎技術開発者など、新産業の創出をリードする人材の育成を目指します。

このプログラムは、平成 31 年 4 月から学生を受入れ（学生受入れ予定 10 名）、複数の研究科にまたがる学位プログラムとして実施いたします。

**【お問い合わせ先】**

広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻

教授 山本 卓

TEL:082-424-7446、 FAX:082-424-7498

E-mail:tybig@hiroshima-u.ac.jp


## ○ 平成30年度 卓越大学院プログラム 申請・採択状況

設置形態	申請数		採択数	
	大学数	件数	大学数	件数
国立	28	44	12	14
公立	3	3	0	0
私立	7	7	1	1
合計	38	54	13	15

## ○ 平成30年度 卓越大学院プログラム 採択一覧

連番	大学名	プログラム名称
1	北海道大学	One Healthフロンティア卓越大学院
2	東北大学	未来型医療創造卓越大学院プログラム
3		人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム
4	筑波大学	ヒューマニクス学位プログラム
5	東京大学	生命科学技術 国際卓越大学院プログラム
6	東京農工大学	「超スマート社会」を新産業創出とダイバーシティにより牽引する卓越リーダーの養成
7	東京工業大学	「物質×情報＝複素人材」育成を通じた持続可能社会の創造
8	長岡技術科学大学	グローバル超実践ルートテクノロジープログラム
9	名古屋大学	トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム
10		未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム
11	京都大学	先端光・電子デバイス創成学
12	大阪大学	生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養
13	広島大学	ゲノム編集先端人材育成プログラム
14	長崎大学	世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム
15	早稲田大学	パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム

# 本プログラムの特色および育成する人材像

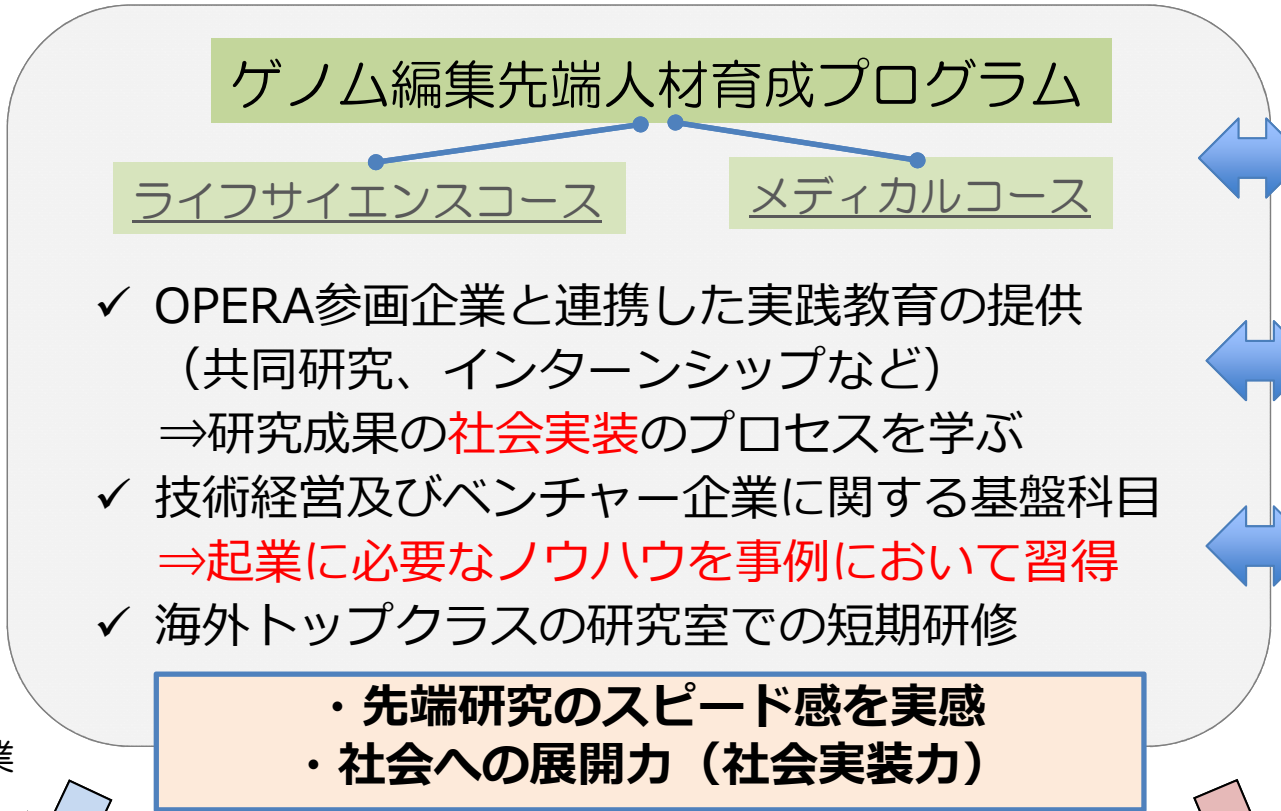

 広島大学  
 ゲノム編集研究  
 教育センター  
 (平成30年設置)


**国内屈指の  
研究拠点**


 JST-OPERA  
 ゲノム編集  
 コンソーシアム


**国内唯一の  
産学連携拠点**

徳島大学、参画企業



京都大学  
 iPS細胞  
 研究所

海外ゲノム  
 編集研究  
 者の招聘

一般社団法人  
 日本ゲノム  
 編集学会



ゲノム編集の  
産業技術開発者

食品企業・化学企業

ゲノム編集の  
創薬・治療研究者

製薬企業、バイオベンチャー企業

ゲノム編集関連  
ベンチャーの起業家

大学研究者、ベンチャー企業

ゲノム編集の  
基礎技術開発者

**新産業創出**を担うゲノム編集研究者を輩出



平成30年10月24日

**本学が参画し広島県が申請した「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」が内閣府の平成30年度  
地方大学・地域産業創生交付金の対象事業に採択されました**

内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」の選定結果が10月19日に発表され、全国7件の1つとして、本学が参画し広島県が申請した「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」が対象事業に採択されました。

広島県は、本交付金事業の計画として、「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」を策定し、デジタル技術を活用して、ものづくりのプロセスを革新することで、県内産業の生産性向上や付加価値増大を図ることとしています。

本学は、このプログラムにおいて、今年度中に、「デジタルものづくり研究センター（仮称）」を設置し、モデルやデータを活用して材料開発を行う「材料モデルベースリサーチ」や、車や生産プロセスの制御等を行う「データ駆動型スマートシステム」の研究開発や人材育成等に、産業界とともに取り組みます。

また併せて、本年4月に開設した情報科学部を中心に、県内の他大学とも連携して、社会人向けの実践的なデータサイエンス人材の育成も行うこととしています。

本計画の実施に当たっては、本学は、大学院などの組織改革を行うとともに、国内外からトップレベルの研究者を招へいするなどして、グローバルな競争力を有する大学となるための、大学改革を併せて推進して参ります。

**【お問い合わせ先】**

広島大学社会産学連携室  
理事・副学長 高田 隆  
TEL:082-424-6031 FAX:082-424-6189

平成 30 年度地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業一覧

申請 団体名	【分野】
	計画名
	主な参画機関
富山県	【製造業（製薬）】
	「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造計画
	富山大学、富山県立大学、北陸経済連合会、富山県商工会議所連合会、富山県経営者協会、富山県薬業連合会等
岐阜県	【製造業（航空宇宙）】
	日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発
	各務原市、岐阜県研究開発財団、岐阜大学、川崎重工業(株)航空宇宙システムカンパニー、ナブテスコ(株)航空宇宙カンパニー、恵那機器(株)、(株)水野鉄工所、日本プレス工業(株)、川崎岐阜協同組合、岐阜工業高等専門学校、(株)大垣共立銀行、(株)十六銀行
島根県	【製造業（鉄鋼）】
	先端金属素材グローバル拠点の創出ーNext Generation TATARA Projectー
	島根大学、日立金属(株)、SUSANO、協同組合島根県鐵工会、松江工業高等専門学校、(株)山陰合同銀行等
広島県	【製造業（輸送用機械器具）】
	ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム
	広島大学、県立広島大学、広島市立大学、中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、(株)広島銀行
徳島県	【光関連産業】
	次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画
	とくしま産業振興機構、徳島大学、四国大学、日亜化学工業(株)、日本フネン(株)、徳島県商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島経済同友会、徳島県経営者協会、徳島県農業協同組合中央会、阿南工業高等専門学校、(株)阿波銀行、(株)徳島銀行、(株)日本政策金融公庫、徳島県信用保証協会
高知県	【農業（施設園芸農業）】
	“I o P (Internet of Plants)” が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化
	高知大学、高知工科大学、高知県農業協同組合中央会、高知県園芸農業協同組合連合会、高知県工業会、(株)四国銀行、(株)高知銀行、高知県IoT推進ラボ研究会
北九州 市	【製造業（産業用ロボット）】
	革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト
	北九州産業学術推進機構、九州工業大学、(株)安川電機、(株)福岡銀行 等

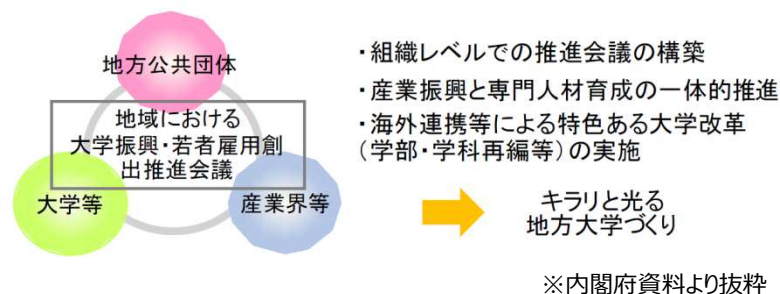
※平成 30 年度交付予定額については、今後決定

# 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」の概要

国の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し，ものづくり分野の研究者が集積する広島大学を中心に，自動車製造業等の産業界，県内他大学，地域金融機関，行政が連携し，研究/開発/生産/消費・サービスといった，ものづくりのバリューチェーン全体のデジタル化を図る。

## 地方大学・地域産業創生交付金制度について

- 地方公共団体は，平成30年6月1日施行の地方大学・産業創生法に基づき，首長のリーダーシップの下，産学官の各主体が連携し，地域における大学振興，これを通じた中核的産業の振興及び当該産業に関する専門人材の育成を行う計画を策定する。
- 国は，地方公共団体が申請した計画について，有識者委員会の評価等を踏まえ，優れた計画について新たな交付金により支援する。
- これにより，日本全国や世界中から学生が集まるような「キラリと光る地方大学づくり」を進める。
- 国費上限額：7億円／年（最大5年間）  
※交付率 1 / 2 ~ 3 / 4



## 交付金の採択状況

- 申請件数：16件
- 採択件数：7件  
（広島県，富山県，岐阜県，島根県，徳島県，高知県，北九州市）

## ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラムの取組内容

区分	内容	事業費
先端研究	広島大学に新設置する「デジタルものづくり研究センター（仮称）」において，産学の研究者が下記研究に取り組む。 ○「材料モデルベースリサーチ」 高度なシミュレーションを駆使するモデルベース開発の手法を応用した革新的な材料開発に関する研究 ○「データ駆動型スマートシステム」 得られたデータを総合的に分析し，開発・生産等の全体最適を図るシステムの研究や，生産現場等における高度かつ効率的なデータ取得に関する研究 ○海外機関との共同研究	5年度分計 約51億円 (内訳) 国約31億円 県など地域 約20億円
実証環境整備	○テストベッド 開発した材料やシステムを検証・実証する環境の整備・運営	
人材育成	○実践エクステンションプログラム 広島大学等の県内大学が連携し，社会人向けの実践的なデータサイエンスに係る人材育成プログラムを実施 ○プロジェクト・ベースド・ラーニング等 上記研究プロジェクトやテストベッドを活用して，学生や院生に対して実践的な人材育成を行うほか，ひろしまデジタルイノベーションセンターを活用して，企業人材に対しモデルベース開発等の研修を実施	
会議体運営	○事業推進のための会議体運営 地域の産学金官で組織する会議体を運営	

- ・ 国による支援期間：平成30年度から平成34年度まで
- ・ 会議体名称等：広島県地方大学・地域産業創生事業推進特別委員会  
[構成員：県知事（主宰者），マツダ(株)会長（事業責任者），広島大学長，県立広島大学学長，広島市立大学学長，(株)広島銀行頭取，広島県商工会議所連合会会頭，中国経済連合会会長]



平成30年10月24日

広島大学と平山郁夫美術館との  
包括的連携協力に関する協定を締結します

国立大学法人広島大学と公益財団法人平山郁夫美術館は、相互の活動の一層の進展を目指すとともに、国際文化芸術発信拠点の形成と人材の育成に資することを目的として、「包括的連携協定」を締結する運びとなりました。

つきましては、調印式および記者会見を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

記

<調印式及び記者会見>

【日 時】11月5日(月) 10:30~11:00

【場 所】平山郁夫美術館  
(〒722-2413 広島県尾道市瀬戸田町沢 200-2)

【出席者】平山郁夫美術館 理事長 平谷 祐宏(尾道市長)  
広島大学 学長 越智 光夫

※調印式終了後、ティーラウンジにおいて、ミニ講演会「シルクロードと敦煌」(30分)を開催します。

講師：荒見 泰史(広島大学大学院総合科学研究科 教授/敦煌学プロジェクト研究センター長)



調印式会場(第三展示室)

【お問い合わせ先】

広島大学 社会産学連携室 社会産学連携グループ 担当：三戸  
TEL：082-424-5871  
E-mail：sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp



## 平山郁夫氏のご紹介

昭和 5 年(1930)6 月 15 日、広島県瀬戸田町(現・尾道市)生まれ 東京美術学校日本画科卒業。昭和 27 年(1952)美術学校卒業と同時に東京芸術大学に奉職、平成 7 年(1995)学長で退官。平成 13 年(2001)から 17 年(2005)まで、再度東京芸術大学学長をつとめる。昭和 28 年(1953)、「家路」で院展初入選。昭和 39 年(1964)、日本美術院同人に。現在日本美術院理事長 平成 10 年(1998)文化勲章を受章。

ほかに、ユネスコ親善大使・世界遺産担当特別顧問、東京国立博物館特任館長、文化財赤十字活動を提唱する文化財保護・芸術研究助成財団の理事長などをつとめた。

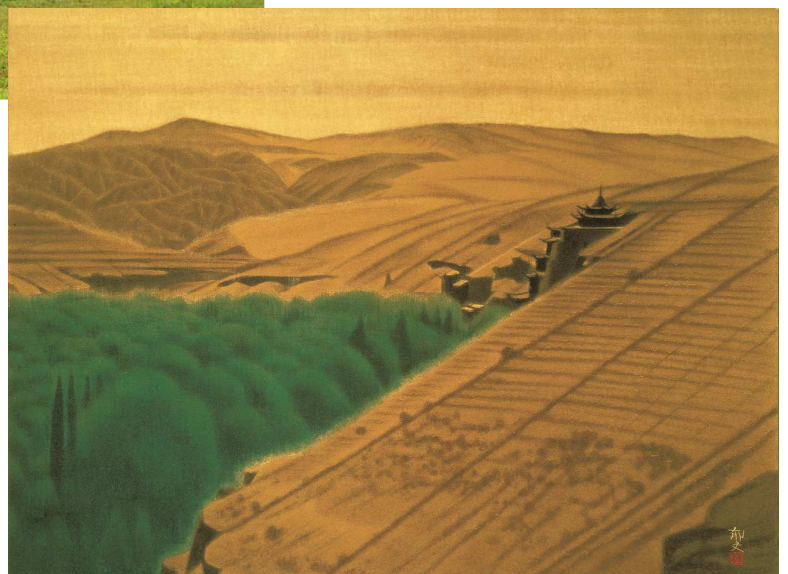
平成 21 年 12 月 2 日永眠(満 79 歳)。



## 平山郁夫美術館(1997.4 開館)のご紹介



外観



収蔵作品「敦煌A」(1980年)

平成30年10月24日

広島大学と広島銀行との遺贈による寄附に関する  
協定締結及び共同セミナーの開催について

国立大学広島大学は、株式会社広島銀行と遺贈による寄附に関する協定を締結しますので、下記のとおりお知らせいたします。

また、広島銀行の共催のもと「人生 100 年時代を生きるご長寿セミナー」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 協定の内容

- (1) 広島大学は、遺贈の相談があった場合、提携する銀行のひとつとして広島銀行を紹介する
- (2) 広島銀行は、お客様のご意向を確認・相談のうえ、遺贈の手続きをサポートする

2. 協定締結日

2018年10月24日(水)

3. 共同セミナーの開催

日 時：2018年12月6日(木) 14:00~16:00 (開場 13:00)

場 所：ひろしまハイビル 21

内 容：第一部 「健康セミナー」～よい医師へのかかり方～

(講師：広島大学病院医系総合診療科 教授 田妻 進)

第二部 「終活セミナー」～人生の仕舞い方～

(講師：一般社団法人 人生安心サポートセンターきらり  
理事長 橋口 貴志 氏)

【お問い合わせ先】

広島大学 基金室

多賀 信政

TEL:082-424-6132 FAX:082-424-6020



# 人生100年時代を生きる ご長寿セミナー

このたび広島大学と広島銀行で共同企画したセミナーを開催いたします。  
本セミナーでは、高齢者の方が抱えるお悩みを  
テーマに各分野の専門家が分かりやすくご説明しますので、  
ご多用中とは存じますが、お気軽にご参加ください。



**日時** 2018年**12月6日** 木 14:00~16:00 (受付開始 13:00)

**会場** 『ひろしまハイビル21』  
広島市中区銀山町3-1 ひろしまハイビル21

**人数** 先着**100**名様

**主催** 国立大学法人 広島大学  
株式会社 広島銀行



**参加  
無料**



## セミナー内容

《第一部》14:10~14:50

### 「よい医師へのかかり方」

講師

国立大学法人  
広島大学  
教授

田妻 進 氏



1980年山口大学医学部卒、1985年米国Cleveland Clinicフェロー、2001年広島大学第一内科助教授、2003年広島大学総合診療科教授、2007年病院長補佐、2014年医学部長補佐、2017年副病院長。日本病院総合診療医学会副理事長、日本プライマリ・ケア連合学会理事。

《第二部》15:00~15:40

### 「長寿時代に備える 成年後見制度と遺言」

講師

一般社団法人  
人生安心サポートセンターきらり  
理事長

橋口 貴志 氏



広島大学法学部卒(平成8年)、司法書士、昭和48年生。  
100名以上の高齢者の後見人・入院時の保証人引受けなど、きらり理事長として、取り組んでいる。  
きらり事務局(広島商工会議所ビル8階TEL082-227-2600)

セミナー参加のお申込みは、裏面をご確認ください。

## 遺贈によるご寄附をお考えの方へ

広島大学と広島銀行では遺贈(遺言による寄附)に関する協定を締結いたしました。寄附を通して社会へ貢献したい、教育・研究の発展・地域貢献に関心がある方は、広島大学および広島銀行へご相談ください。共同でお客さまのサポートをさせていただきます。

### 広島銀行からのご案内

広島銀行では、お客さまの将来への不安に対して、ワンストップで的確かつ迅速にお応えするため、専門の担当者を各店舗に配置しております。ぜひお気軽にご相談ください。

〈ひろぎん〉の  
相続関連サービス

遺言信託・  
遺産整理業務

遺言代用信託

暦年贈与信託

生命保険

教育資金  
一括贈与

セミナーへの参加をご希望の方は、下記①～③のいずれかによりお申込ください。



セミナーの  
お申込み方法

①	広島大学宛てにEメール で申し込む	soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp
②	広島大学宛てにFAX で申し込む	下記「セミナー申込書」に必要事項をご記入のうえ、 <b>FAX 082-424-6020</b> よりお申込ください。
③	〈ひろぎん〉の窓口 で申し込む	下記「セミナー申込書」に必要事項をご記入いただき、お近くの 〈ひろぎん〉窓口まで、チラシをご持参のうえお申込ください。

## 『人生100年時代を生きるご長寿セミナー』申込書

代表者の方	フリガナ			
	お名前	(男性・女性)		
	連絡先 電話番号	(自宅・携帯)	年代	<input type="checkbox"/> にチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 60歳未満 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上
ご同行者の方	フリガナ			
	お名前	(男性・女性)		
	連絡先 電話番号	(自宅・携帯)	年代	<input type="checkbox"/> にチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 60歳未満 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上

### 【お客さま情報のお取扱いについて】

- 本セミナーでは、お客さまへの各種情報提供と併せて、セミナーで紹介する広島銀行の商品等のご案内を行うことがあります。ただし、セミナーにおいて契約締結は行いませんので、ご希望の方は別途お申し付けください。
- お客さまの情報は、本セミナー開催のために広島大学と広島銀行で共同利用いたします。お客さまの情報について、第三者への提供、委託は行いません。お客さまの当行への個人情報提供は、お客さまの意思による任意のものであり、情報提供の有無、内容が当行における他への取引に影響を与えることは一切ございません。

### ■ 広島大学に関するお問い合わせ

広島大学 基金室 基金担当

TEL 082-424-6132

【受付時間】 平日/9:00~17:00

### ■ 広島銀行に関するお問い合わせ

〈ひろぎん〉の窓口  
または

〈ひろぎん〉信託担当

0120-164-088

受付時間 平日/9:00~17:00

(土・日・祝休日、大晦日・正月3が日は除く)

フリーダイヤルをご利用頂けない場合は 082-504-3928 (通話料はお客さま負担となります)

〈ひろぎん〉ホームページ

ひろぎん 🔍 検索



〈ひろぎん〉  
公式アプリ



広島大学

広島銀行



平成30年10月24日

「ひろしまバイオデザインフェローシップコース」受講生募集  
～医療機器開発のための新たな人財育成を始めます～

本年4月、霞地区に開設した「広島大学トランスレーショナルリサーチセンター」に、新たに広島県と設置した「バイオデザイン共同研究講座」では、来年度から、国内4番目の「フェローシップコース」を開講することとし、下記のとおり受講生の募集を行います。

記

【フェローシップコース受講生募集】

募集期間：平成30年10月26日（金）～12月21日（金）

募集定員：4名

応募資格：原則として、大学院修了（修士課程以上）、もしくはヘルスケア関連産業等において5年以上の実務経験をもつ方

選考期間：平成31年1月に書類審査及び面接を実施の上、決定

開講期間：平成31年4月から平成32年3月までの12か月間（フルタイム）

開講場所：広島大学霞キャンパス及び県内医療機関

受講料：本学所属の学生以外は、受講料を徴収

〔参考〕バイオデザインとは

- 医療機器の開発に「デザイン思考」の手法を取り入れ、イノベーションをもたらす人財養成プログラムです。米国スタンフォード大学にて確立された後、アメリカをはじめ、インド、イギリス、アイルランド、シンガポールなど、世界中に展開され、20年間にわたる実績をもちます。
- 国内では、東京大学・大阪大学・東北大学に次ぐ4番目の開講です。
- 広島県の協力による共同研究講座において、インド・バイオデザイン（SIB）と連携したプログラムとして運営します。
- 医療現場の徹底した観察により、潜在的ニーズを探索し、本当に必要とされる医療機器の開発につながる手法を習得することができます。
- プログラムでは、医療従事者、デザイナー、エンジニア、経営企画、管理、ファイナンスなど異なる専門分野を持つ多様性のあるチームを編成し活動します。

※「デザイン思考」=Apple、GE、P&G など世界的な企業が導入し、日本のビジネス界でも大きな注目を集めているイノベーション創出手法

【お問い合わせ先】

医療政策室

医療政策・医学系研究推進グループ

TEL:082-257-1573 FAX:082-257-5962

トランスレーショナルリサーチセンター

バイオデザイン部門 迫浩史

TEL:082-257-1992 FAX:082-257-1993

平成 30 年 10 月 24 日

## 第 12 回広島大学ホームカミングデーの開催について

広島大学では、東広島キャンパスで平成 30 年 11 月 3 日(土)、東千田キャンパスで平成 30 年 11 月 4 日(日)、霞キャンパスでは平成 30 年 11 月 10 日(土)に第 12 回広島大学ホームカミングデーを開催いたします。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員などを招待して歓待するイベントとして、毎年実施しています。

東広島キャンパスでは、サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式を実施します。その後、ミニ演奏会を挟んで引き続き、監督として日本を 2 度のワールドカップに導き、現在は今治で株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長として、サッカーをベースとした地域活性化という新たな挑戦を続けていらっしゃる岡田武史氏による講演会「チームマネジメント～今治からの挑戦～」を開催します。

サタケメモリアルホール周辺では、先日、包括連携協定を締結した福島県から、桃ジュース、リンゴジュース、喜多方ラーメン、桃ゼリー、桃グミなどの特産品販売をはじめ、連携市町による物産展や学生チーム企画を行います。

学部・研究科会場では、様々な企画行事を実施し、夕方には学士会館にて懇親会を行います。

また、東千田キャンパスでは、法科大学院講演会「刑事弁護の最前線と法曹養成」、霞キャンパスでは、講演会「網膜再生医療の未来」を開催いたします。

なお、東広島キャンパス及び霞キャンパスにおいては、同日に大学祭も開催されますので、地域の皆様も広くご来場ください。

※詳細内容については、校友会だより第 24 号（1～6 頁）をご覧ください。

### 【お問い合わせ先】

広島大学 財務・総務室総務グループ（校友担当）羽田、川上、内城  
Tel：082-424-4403 / Fax：082-424-6015





平成30年10月24日

広島大学大学院教育学研究科附属心理臨床教育研究センター

## 西日本豪雨災害における被災者への無料心理相談の実施について

当センターの「広島大学こころの相談室」において、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害により被災された地域住民やその家族および関係者に対して、通常の心理相談（有料）とは別に、無料の心理相談を実施することとしました。豪雨災害により心の傷を負った方々が、経済的負担なく心理支援を受けることが可能となることを趣旨としています。

また、以前から当相談室を利用している来談者のうち、自宅の損壊など豪雨災害によって経済的な被害を受けた方に対しては、5回分の相談料金を無料とすることとしました。

### 記

期 間：2018年10月1日（月）～2019年3月29日（金）

実施方法：期間中の相談受付時に、豪雨災害の被災状況を確認し、具体的な被害を受けた方を無料相談の対象とします。

地域住民への案内方法：

地域住民に対して、当センターのホームページや「中国新聞 Cue 広島版」で案内していくこととしました。

### 【お問い合わせ先】

広島大学大学院教育学研究科  
附属心理臨床教育研究センター  
センター長 石田 弓  
TEL:082-424-6776



平成 30 年 10 月 24 日

2018 年度 広島大学教育学部・大学院教育学研究科  
「高等学校教員のための指導力向上セミナー」を開催します

広島大学教育学部・大学院教育学研究科では、「高等学校教員のための指導力向上セミナー」を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。入場無料です。皆様のお越しをお待ちしています。

記

【日 時】平成 30 年 12 月 22 日（土） 受付開始 9：30～

【会 場】大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）10F/8F 会議室

【テーマ】これからの高校教育はいかに変わるか？

－新学習指導要領をふまえた高校教育の見通し－

【プログラム】

●第 1 部 講演 10：00～12：20（10F 1008 号室）

・講演 1 高大接続改革と大学入学共通テスト

・講演 2 これからの高等学校教員に求められる資質・能力

●第 2 部 ワークショップ 13：30～16：30（8F）

・第 1 分科会 「資質・能力」の育成と評価を考える

・第 2 分科会 各教科等における論理的な文章表現指導のあり方

・第 3 分科会 新学習指導要領をふまえた家庭科教育の方向性

【対 象】高等学校教員、教育委員会関係者、高等学校教育に関心のある  
学生・一般の方

【定 員】150 名

【申込先】<https://goo.gl/fBkexG>

【申込締切】12 月 7 日（金）

（申込状況により期日前に締め切る場合があります。）

【主 催】広島大学大学院教育学研究科

【共 催】広島大学大学院文学研究科・理学研究科・広島大学教育ヴィジ  
ョン研究センター（EVRI）・尚志会

【お問い合わせ先】

広島大学大学院教育学研究科支援室

Mail: [hirodai.hs.seminar@gmail.com](mailto:hirodai.hs.seminar@gmail.com)

# 高等学校教員のための 指導力向上セミナー

平成30年 12月22日 [土]

**入場無料** 要事前申込 **申込先** <https://goo.gl/fBkexG>  
定員 150名 **申込締切** 12月7日 [金]



※申込状況により期日前に締め切る場合があります。

## これからの高校教育はいかに変わるか？

—新学習指導要領をふまえた高校教育の見通し—

### 第1部 講演 10:00～12:20 (10F 1008号室)

**講演 1** 高大接続改革と大学入学共通テスト  
大杉住子先生 (独立行政法人大学入試センター 審議役)

**講演 2** これからの高等学校教員に求められる資質・能力  
大杉昭英先生 (独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター長)

### 第2部 ワークショップ 13:30～16:30 (8F)

**第1分科会** 「資質・能力」の育成と評価を考える

**第2分科会** 各教科等における論理的な文章表現指導のあり方

**第3分科会** 新学習指導要領をふまえた家庭科教育の方向性

※分科会の詳細は裏面をご覧ください

## 大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)

10F/8F 会議室 受付開始 9:30～

※天候等緊急時の対応は、<https://goo.gl/gpV6hG> をご確認ください。



### 対象

高等学校教員、教育委員会関係者、高等学校教育に関心のある学生・一般の方

### 主催

広島大学大学院教育学研究科

### 共催

広島大学大学院文学研究科・理学研究科

広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI)・尚志会

### 後援 (申請中)

文部科学省・大阪府教育委員会・京都府教育委員会・兵庫県教育委員会  
滋賀県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・三重県教育委員会  
大阪市教育委員会・堺市教育委員会・京都市教育委員会・神戸市教育委員会

**問合せ先** [hirodai.hs.seminar@gmail.com](mailto:hirodai.hs.seminar@gmail.com)



## アクセス (大阪市北区中之島5丁目3-51)

### 鉄道

京阪電中之島線「中之島 (大阪国際会議場) 駅」(2番出口) すぐ

JR 大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分

JR 東西線「新福島駅」(3番出口) から徒歩約10分

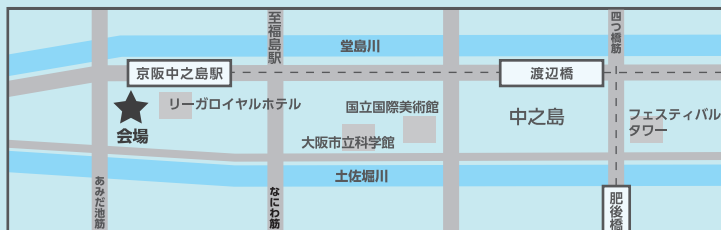
阪神本線「福島駅」(3番出口) から徒歩約10分

大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口) から徒歩約15分

### バス

JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス (53系統 船津橋行または55系統 鶴町四丁目行) で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ

「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間でシャトルバスが運行されており、ご利用いただけます (定員28名)



## 第 2 部 ワークショップ 13:30～16:30

### 第 1 分科会 (804号室)

#### 「資質・能力」の育成と評価を考える

コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科 川口 広美・三好 美織

講演 「学びの社会的意味の視点から指導と評価のあり方を問い直す」

広島大学大学院教育学研究科 草原 和博

実践報告

関西学院千里国際中等部・高等部 宗正 久志  
広島県立熊野高等学校 川崎 巧  
大阪薬科大学 竹本 宏輝

質疑・応答

### 第 2 分科会 (805号室)

#### 各教科等における論理的な文章表現指導のあり方

コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科 間瀬 茂夫

実践発表

大阪府立豊中高等学校 福野 勝久  
広島県立広島高等学校 三谷 弘子  
関西学院大阪インターナショナルスクール 遠藤みゆき

協議

### 第 3 分科会 (806号室)

#### 新学習指導要領をふまえた家庭科教育の方向性

コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科 村上かおり

講話 1 「家庭科の見方・考え方と資質・能力ベースの学びづくり」

広島大学大学院教育学研究科 鈴木 明子

講話 2 「新学習指導要領の実施に向けた広島県の取り組み」

広島県立教育センター 小椋 由美

実践報告

大阪市立鶴見橋中学校 高松 幸織  
大阪府立貝塚高等学校 谷 昌之

質疑・応答



平成 30 年 10 月 24 日

2018 年度 第 2 回 広島 ESD コンソーシアム研修会  
「これからの時代に求められるコミュニケーション能力育成  
のための初等国語科教育」を開催します

広島大学大学院教育学研究科広島 ESD コンソーシアムは、広島文教女子大学、広島文化学園大学、広島市立大学との共催により、2018 年度 第 2 回 広島 ESD コンソーシアム研修会「これからの時代に求められるコミュニケーション能力育成のための初等国語科教育」を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

- 日 時：平成 30 年 11 月 11 日（日）  
13 時 30 分～17 時 00 分（受付 13 時より）
- 場 所：広島文教女子大学 二号館 大講義室他  
（〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東 1-2-1）
- 対 象：初等教育や ESD に興味がある学生、教員、一般の方
- 参加費：無料
- 申込方法：当日参加も可能ですが、人数の把握のためできる限り下記の方法で事前にお申し込みください。E-mail に次の項目を入力の上、下記のアドレスにご送信ください。
- (a) 氏名、(b) ご所属（学生の場合は学年）、(c) 希望する分科会  
広島文教女子大学 岡 利道 宛（t.oka@h-bunkyo.ac.jp）
- 主 催：広島 ESD コンソーシアム、広島文教女子大学、広島文化学園大学、  
広島市立大学

ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な社会づくりの担い手（人材）」を育成するための教育）の普及発展に取り組んでいる同研究科は、グローバル人材の育成と、ESD の実践を担うリーダー的教員や、そのような教師を目指す学生の育成を目的として、広島 ESD コンソーシアムを設立しました。

本コンソーシアムは、広島大学が代表団体となり、広島県内の大学、県市町の教育委員会、企業、機関との連携により構成されています。また、平成 28 年度文部科学省「グローバル人材の育成に向けた ESD の推進事業」にも採択されています。

【お問い合わせ先】

広島 ESD コンソーシアム事務局 島津礼子  
TEL: 082-424-4429  
E-mail: shimazurk@hiroshima-u.ac.jp





2018年度

# 第2回広島ESDコンソーシアム研修会

**日時** 11月11日(日) 13:30~17:00  
受付 13:00~

**場所** 広島文教女子大学二号館大講義室他  
〒731-0295  
広島市安佐北区可部東1-2-1

**対象** 初等教育やESDに興味がある学生、  
教員、一般の方

**主催** 広島ESDコンソーシアム、広島文教女子大学  
**(共催)** 広島文化学園大学、広島市立大学

**後援** 広島県教育委員会・広島市教育委員会(申請中)

## 「これからの時代に求められる コミュニケーション能力育成のための初等国語科教育」

13:30~13:40 開会式

13:45~15:15

○全体会 広島大学大学院教育学研究科 難波 博孝 先生  
「これからの時代に求められる初等国語科教育」

15:15~15:30 休憩・移動

15:30~16:30

○分科会 ① 香川大学教育学部 佐藤 明宏 先生  
「深め合う国語科の授業づくり」  
② 茨城大学教育学部 昌子 佳広 先生  
「“対話”を実現する国語科の授業づくりーこれからの社会を支える対話力の育成を目指してー」

16:30~16:40 休憩・移動

16:40~17:00 講評・閉会式

### お申し込み・お問い合わせ

当日参加も可能ですが、人数の把握のため、事前申込にご協力ください。

メールに以下の3項目を入力の上、広島文教女子大学 岡 利道 (t.oka@h-bunkyo.ac.jp)まで、お申し込みください。

(a) 氏名、(b) ご所属(学生の場合は学年)、(c) 希望する分科会





平成 30 年 10 月 24 日

広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所  
「第 3 回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム」を開催

広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所では、「第 3 回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム」を、下記のとおり開催いたします。

生体医歯工学共同研究拠点は、平成 28 年 4 月に、文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点の認定を受けたもので、広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所、東京医科歯科大学生体材料工学研究所、東京工業大学未来産業技術研究所及び静岡大学電子工学研究所の 4 拠点が共同研究ネットワークを構築して革新的医療技術創出の拠点形成を目指すものです。下記のプログラムにありますように、国内外の世界的著名な研究者の基調講演及び招待講演を予定しております。

参加費は無料でどなたでもお聞きいただけますので、下記の申込 Web ページよりご登録をお願いします。なお、使用言語は英語です。

記

- 開催日：2018 年 11 月 8 日(木)、9 日(金)
- 場 所：広島大学サタケメモリアルホール（東広島キャンパス）  
サタケメモリアルホールを Google Street View で探す  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/memorialhall>
- 懇親会参加費：5000 円（学生 2000 円）
- 参加申込受付：申込ページへのリンク（2018 年 10 月 25 日（木）締切）
- 主催 東京医科歯科大学生体材料工学研究所  
東京工業大学未来産業技術研究所  
広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所  
静岡大学電子工学研究所
- 共催 広島大学
- 協賛 文部科学省
- 後援 広島大学大学院先端物質科学研究科  
広島大学 産学・地域連携センター

【お問い合わせ先】

広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所  
生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム 事務局  
E-mail：[isbe2018@hiroshima-u.ac.jp](mailto:isbe2018@hiroshima-u.ac.jp)  
Tel：082-424-6265  
Web：<http://www.RNBS.hiroshima-u.ac.jp/ISBE2018/>

# The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Biomedical Engineering

Sponsored by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

November 8-9, 2018

## Invited Speakers

**Doron Shabat**, Tel-Aviv University, Israel

*"The Emergence of Aqueous Chemiluminescence: New Promising Class of Phenoxy 1,2-Dioxetanes"*

**Nora Dempsey**, Institut Néel, France

*"Magnetic Micro-Structures for Biomedical Engineering and Life Science Applications"*

**Declan O'Loughlin**, National University of Ireland, Galway

*"Translational Medical Device Research"*

**Michael J. Schoening**, Aachen University of Applied Sciences, Jülich, Germany

*"Field-Effect Biosensing - Selected Examples"*

## Academic-Industrial Collaboration Session

**Sadato Hongo**, TOSHIBA CORPORATION

*"A New Approach to Virus Detection Using Nanopore Technologies"*

**Tomonori Tsukiya**, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute

*"Development and Preclinical Evaluation of Ventricular Assist Devices - Strategies for Regulatory Approval -"*

**Toshifumi Imamura**, A-R-Tec Corporation

*"CMOS-LSI for Breast Cancer Detection"*

**Yasushi Nakano**, KONICA MINOLTA, INC.

*"Quantitative Diagnostic Imaging of Cancer Tissues by Using Phosphor Integrated Dots(PID) with Ultra-High Brightness"*

## お申し込み・お問い合わせ先

Contact: Research Institute for Nanodevice and Bio Systems (RNBS), Hiroshima University  
1-4-2 Kagamiyama, Higashihiroshima,  
Hiroshima 739-8527, Japan

Phone: 082-424-6265 FAX:082-424-3499  
E-mail: isbe2018@hiroshima-u.ac.jp

広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所  
〒739-8527 広島県東広島市鏡山1-4-2  
TEL : 082-424-6265 FAX : 082-424-3499  
E-mail : isbe2018@hiroshima-u.ac.jp

**Venue:** Satake Memorial Hall, Hiroshima University  
(Higashihiroshima Campus, Hiroshima, Japan)

**Access:** JR Sanyo Main Line Saijo station, Bus 15 min

**広島大学 東広島キャンパス**

**サタケメモリアルホール** (JR山陽本線西条駅バス15分)

"The Research Center of Biomedical Engineering (RCBE) was established in April, 2016, by support of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT). The international symposium on biomedical engineering is organized as a part of the activities in the RCBE. Through the collaborative research in the interdisciplinary field between medicine and engineering, we discuss the global issues on future medicine and healthcare, and develop innovative technologies to realize a healthy aging society."

## Organizers:

- Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University
- Laboratory for Future Interdisciplinary Research of Science and Technology, Tokyo Institute of Technologies
- Research Institute for Nanodevice and Biosystems, Hiroshima University
- Research Institute of Electronics, Shizuoka University

主催：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

東京工業大学 未来産業技術研究所

広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

静岡大学 電子工学研究所

併催：広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

共催：広島大学

後援：広島大学大学院先端物質科学研究科

広島大学 産学・地域連携センター

**Submission deadline for poster presentation: Sept. 25, 2018**

The abstract submission is required for poster presentation.

**Registration deadline: Oct. 25, 2018**

Registration is free. Pre-registration is preferable.

**ポスター発表申込締切**

**2018年 9月25日 (火)**

**参加申込締切**

**2018年10月25日 (木)**

## Networking fee:

JPY5,000 for regular participants, and JPY2,000 for students.  
The networking fee should be paid on site at the registration desk. Registration for the networking is required.

懇談会参加費：5,000円 (学生 2,000円)



**Web Site: <http://www.RNBS.hiroshima-u.ac.jp/ISBE2018/>**



# The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Biomedical Engineering

## Program

### November 8 (11月8日)

13:00~13:10	Opening Remarks
13:10~13:20	Introduction of Research Center for Biomedical Engineering
13:20~14:45	Session A
14:45~16:15	Poster Session 1 & Coffee Break
16:25~18:05	Academic-Industrial Collaboration Session
18:15~20:00	Networking

### November 9 (11月9日)

10:00~11:25	Session B
11:25~13:15	Poster Session 2 & Lunch
13:25~14:50	Session C
14:50~15:10	Coffee Break
15:10~16:35	Session D
16:35~16:50	Closing Remarks (Award Ceremony)

### Organizing Committee:

Yuji Miyahara, Tokyo Medical and Dental University  
 Kohji Mitsubayashi, Tokyo Medical and Dental University  
 Kenji Kawashima, Tokyo Medical and Dental University  
 Takeshi Hatsuzawa, Tokyo Institute of Technology  
 Hideki Hosoda, Tokyo Institute of Technology  
 Shin Yokoyama, Hiroshima University  
 Takamaro Kikkawa, Hiroshima University  
 Hidenori Mimura, Shizuoka University  
 Koji Mori, Shizuoka University

### Technical Program Committee:

Yuji Miyahara, Tokyo Medical and Dental University  
 Kohji Mitsubayashi, Tokyo Medical and Dental University  
 Kenji Kawashima, Tokyo Medical and Dental University  
 Takeshi Hatsuzawa, Tokyo Institute of Technology  
 Hideki Hosoda, Tokyo Institute of Technology  
 Shin Yokoyama, Hiroshima University  
 Hidenori Mimura, Shizuoka University  
 Koji Mori, Shizuoka University  
 Takamaro Kikkawa, Hiroshima University  
 Masakazu Iwasaka, Hiroshima University  
 Anri Nakajima, Hiroshima University  
 Tetsushi Koide, Hiroshima University  
 Shin-ichiro Kuroki, Hiroshima University  
 Tetsuo Tabei, Hiroshima University  
 Yoshiteru Amemiya, Hiroshima University  
 Tomomi Ishikawa, Hiroshima University

